

くさ か はく がん
日下 伯巖 (1785～1866)

明教館教授。松山城下(現、松山市)出身。名は梁。号は陶溪、字は伯巖。藩命により昌平
黌に入学し、朱子学を修得した後、松山に帰り、藩主・松平定通に仕えた。松山藩の藩校であ
る明教館の開設により、教授として約40年間藩士の子弟教育に従事し、その門から矢野玄道や大
原鶴山らを輩出した。また、詩文に秀で、書道も巧みであった。

略 歴

天明5(1785)年2月17日	松山城下に生まれる。
青少年期	杉山熊台に古文辞学を学ぶ。
文化12(1815)年	藩命により江戸(現、東京都)の昌平黌に入学。古賀精里に師事し、朱子学を修得
文政10(1827)年	松山に帰郷
文政11(1828)年	明教館開設により、教授として子弟の教育に従事
安政元(1854)年	隠居
慶応2(1866)年9月14日	82歳で永眠

〈関連図書〉

- ・田中歳雄『愛媛県の歴史』 山川出版社 1973年
- ・影山昇『愛媛県教育史』 思文閣出版 1983年
- ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 人物』 愛媛県 1989年

〈主な収蔵資料〉…(P197, 17)

〈ゆかりのある場所〉…(P271, 31)

〈関連施設〉…明教館

〒790-0855 愛媛県松山市持田町2丁目 愛媛県立松山東高等学校内 TEL: 089-943-0187